

## 平成29年度事業報告

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

### I 当法人の概況

#### 1 役員に関する事項

##### (1) 理事及び監事に関する事項

###### 理事

定数 9人以上13人以内（会長、副会長及び専務理事を含む）

任期 選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤1人、非常勤10人、計11人

###### 監事

定数 2人

任期 選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤2人、計2人

(平成30年3月31日現在)

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
会長	伊藤 邦宏	H29.6.20～ 平成31年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道中小企業総合 支援センター 理事長
副会長	山谷敬三郎	〃	〃	〃	北翔大学 学長
理事	鎌田 浩志	〃	〃	〃	北海道中学校長会 対策部幹事
〃	森 政徒	〃	〃	〃	前北海道PTA連合会 副会長
〃	猪股 大輔	〃	〃	〃	北海道青年団体協議会 会長
〃	横島 義人	〃	〃	〃	北海道商工会連合会 総務部長
〃	近藤 浩	〃	〃	〃	北海道新聞社 報道センター長

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
理事	林 進一	H29. 6. 20～ 平成31年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	札幌市清田区青少年 育成委員会連絡協議会 議長
〃	安野 裕子	〃	〃	〃	留寿都村青少年問題 協議会 委員
〃	荒木関 栄	〃	〃	〃	旭川市青少年育成部 連絡協議会 会長
専務理事	濱口登代喜	〃	常勤	〃	北海道青少年育成協会 事務局長
監事	西村 俊二	H29. 6. 20～ 平成33年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	〃	税理士
〃	酒元 辰也	〃	〃	〃	北海道歴史文化財団 専務理事

(2) 評議員に関する事項

定数 9人以上13人以内

任期 選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の  
終結の時まで

現在数 常勤なし、非常勤11人、計11人

(平成30年3月31日現在)

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
評議員	谷坂 常年	H29. 6. 20～ 平成33年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道高等学校長協会
〃	大石 幸志	〃	〃	〃	北海道小学校長会 事務局幹事
〃	吉澤 政昭	〃	〃	〃	北海道市長会 事務局長

職名	氏名	任期	常勤 非常勤	報酬等	所属
評議員	山内 康弘	H29. 6. 20～ 平成 33 年度定時評議員会 終結の時まで	非常勤	なし	北海道町村会 事務局長
〃	木村 謙治	〃	〃	〃	北海道子ども会育成連合会 常務理事兼事務局長
〃	扇間 康弘	〃	〃	〃	日本ボーイスカウト 北海道連盟 副理事長
〃	林 光彦	〃	〃	〃	北海道社会福祉協議会 常務理事
〃	時田 昭子	〃	〃	〃	北海道女性団体連絡協議会 副会長
〃	菅原 光宏	〃	〃	〃	北海道経済連合会 理事事務局長
〃	石田 健一	〃	〃	〃	北海道農業協同組合中央会 営農指導支援センター センター長
〃	稲垣 利彰	〃	〃	〃	札幌家庭裁判所 家事調停委員

## 2 賛助会員に関する事項

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

種類	前年度末		当年度末		増減	
	数	単位	数	単位	数	単位
普通賛助会員 個人	58	人	60	人	2	人
普通賛助会員 青少年関係団体	53	団体	52	団体	-1	団体
特別賛助会員	148	団体	148	団体	0	団体
合計	259	人・団体	260	人・団体	1	人・団体

### 3 職員に関する事項

現在数 6名

(平成30年3月31日現在)

役職	氏名	常勤・非常勤の別
事務局次長	遠藤 善彦	常勤
主 任	竹本 郁子	〃
主 任	福田 拓哉	〃
専門指導員	千葉 祐一	〃
嘱 託	上杉 絵巳子	〃
臨時主事	工藤 かおり	非常勤

## II 事業に関する事項

### 1 平成29年度事業の実施状況

別添のとおり

### 2 役員会等に関する事項

#### (1) 理事会

開催年月日	決議事項	結果
平成29年6月1日	①平成28年度事業報告について ②平成28年度収支決算について（監査報告） ③評議員会の開催及び目的である事項について	承認 承認 承認
平成29年6月20日 (決議の省略)	①会長の選定について ②副会長の選定について ③専務理事の選定について	承認 承認 承認
平成30年3月14日	①平成30年度活動方針及び事業計画（案）について ②平成30年度予算（案）について ③資金調達及び設備投資の見込みについて ④平成30年度資金管理運用執行方針及び計画（案）について	承認 承認 承認 承認

(2) 評議員会

開催年月日	決議事項	結果
平成 29 年 6 月 20 日	①平成 28 年度収支決算について（監査報告） ②理事の改選について ③監事の改選について ④評議員の改選について	承認 承認 承認 承認

(3) 基金管理運営委員会

開催年月日	内 容
平成 29 年 8 月 23 日	・平成 28 年度北海道青少年基金事業実績及び収支決算について ・平成 29 年度北海道青少年基金運用益交付団体の決定について ・平成 29 年度「青少年団体・グループ及び青少年顕彰」の決定について ・平成 32 年度以降の北海道青少年基金運用益交付団体の決定方針 について
平成 30 年 3 月 8 日	・北海道青少年基金の造成現況について ・北海道青少年基金運用益の交付・顕彰現況について ・平成 30 年度北海道青少年基金事業計画（案）について ・平成 32 年度以降の北海道青少年基金運用益交付団体の決定方針 について

3 所管庁への届出事項

届出年月日	届出事項
平成 29 年 6 月 20 日	平成 28 年度事業状況報告等の提出
平成 29 年 7 月 19 日	理事・評議員変更の届出
平成 30 年 3 月 26 日	平成 30 年度事業計画等の提出

4 行政機関から受けた監督上の処分又は指導に関する事項

検査年月日	検査内容	処分または指導
平成 29 年 4 月 18 日	平成 28 年度補助金事業実績報告に係る現地調査 (道環境生活部)	なし

5 事業報告の付属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当すると思われる事項は特にあります。

## Ⅱ－１．平成２９年度事業の実施状況

近年、青少年の育成を取り巻く状況は、いじめや不登校、児童虐待、有害情報の氾濫と少年の被害、ニートなど若者の社会的自立の遅れ、少年による重大事件の発生など、憂慮すべき様々な問題が生じており、行政や関係団体、企業、NPOなど様々な立場からの連携した取り組みが求められております。

このため、当協会は、平成２９年度においても北海道や関係機関・団体等と密接に連携し、青少年の健全育成のため、各般の事業の推進に努めました。

平成２９年度における事業の実施状況は、次のとおりです。

事業名	事業の概要	備考
<b>1. 青少年育成住民運動促進事業</b>	<p>運動を効果的に推進するため、全道に青少年育成運動推進指導員を配置し、関係者との合同会議を開催するなどして、地域での青少年育成運動についての共通理解を深めるとともに、関係団体の連携による地域ぐるみの運動の促進に努めた。</p>	
(1) 北海道青少年育成運動推進指導員の配置	<p>○定員 238人 《内訳》 (総合)振興局(青少年指導員)、教育局(社会教育主事) (総合)振興局管内(青年代表)各1人 札幌市10人、旭川市・函館市は各3人 小樽市・苫小牧市・帯広市・釧路市は各2人 その他の市及び町村各1人</p> <p>○活動 ・青少年育成運動(地域行事・活動に参加) ・地域団体等の事業を実施 ・非行防止、環境浄化(巡回パトロールなど) ・行政との連携(市町村行事等に参加) ・当協会の事業推進(地域住民に情報提供など)</p>	
(2) 青少年育成地域合同会議の開催(北海道との共催)	<p>全道14箇所(各(総合)振興局)で開催し、青少年育成運動推進指導員や市町村青少年行政担当者等が出席した。</p> <p>○期日 平成29年5月11日(木)～6月27日(火) ○会場 各(総合)振興局単位(14会場) ○対象 ・青少年育成運動推進指導員 ・市町村青少年行政担当者 ・青少年育成市町村民会議関係者</p> <p>○参加者 381名(総計) ○内容 ・平成29年度青少年育成施策の推進について ・少年非行の概況について ・平成29年度活動方針及び事業計画について ・意見交換</p>	
(3) 市町村民会議等の連携強化	<p>地域における運動の中核である青少年育成市町村民会議(現在68市町村設置)の活動状況を把握し、市町村民会議等への啓発資料の配付や機関誌等による情報提供を行い、地域の連携の強化や運動の支援を図った。</p>	

事業名	事業の概要	備考
(3) 市町村民会議等の連携強化	<p>○活動状況の把握 当協会ホームページに全市町村民会議の平成27年度活動状況を掲載したほか、協会機関誌において、次の市町村民会議の活動内容を紹介した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和寒町青少年育成町民会議</li> <li>・士幌町青少年健全育成協議会</li> <li>・羅臼町青少年健全育成町民会議</li> </ul>	
(4) 青少年問題を考える地域懇話会の開催	<p>青少年に関する諸問題について学識経験者と地域の活動指導者等による懇話会を市町村民会議との共催により、前年度と同様2回開催した。関係者の参加により、地域の現状や課題解決の方策等について、活発な意見交換が行われた。</p> <p><b>乙部町開催</b></p> <p>○期 日 平成29年7月6日(木)</p> <p>○場 所 乙部町民会館</p> <p>○共 催 乙部町青少年健全育成懇談会 乙部町教育委員会</p> <p>○テーマ「子どもたちを取り巻く現況と地域のかかわりについて ～地域で大人が何をすべきか～」</p> <p>○参加者 地元青少年育成関係者 25名</p> <p>○関係者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話題提供者：函館市地域交流まちづくりセンター長 丸藤 競</li> </ul> <p>話題：「地域と子どもたちと、未来のために ～私たちができること～」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター：北海道教育庁檜山教育局教育支援課 社会教育指導班主査 松浦 賢一</li> </ul> <p><b>釧路町開催</b></p> <p>○期 日 平成29年11月11日(土)</p> <p>○場 所 釧路町公民館</p> <p>○共 催 釧路町青少年健全育成協会 釧路管内北海道青少年育成運動推進指導員会</p> <p>○テーマ「子どもの貧困について ～地域の大人が何をすべきか～」</p> <p>○参加者 地元青少年育成関係者 25名</p> <p>○関係者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話題提供者：北海道教育大学釧路校講師 木戸口正宏</li> </ul> <p>話題：「子どもの貧困について ～釧路管内における子どもの貧困の状況と課題について～」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター：北海道教育庁釧路教育局教育支援課 社会教育指導班主査 柴田 快憲</li> </ul>	

事業名	事業の概要	備考
<b>2. 青少年を育成する環境づくり推進事業</b>	青少年の健全な育成について、社会全体が取り組む環境づくりを進めるため、北海道青少年育成大会や青少年育成運動活性化研究協議会など関連事業を開催し、青少年問題についての共通理解を深めた。	
(1) 北海道青少年育成大会の開催 (北海道、国立青少年教育振興機構との共催)	地域で活動している全道の青少年育成関係者が一堂に会し、青少年育成運動功労者の顕彰や各表彰式、また、基調講演や「少年の主張」全道大会を行い、本道における青少年育成活動の一層の推進をアピールすることができた。 ○期 日 平成29年9月8日(金) ○場 所 道民活動センター(かでの2・7)ホール ○参加者 青少年育成関係者 452名 ○内 容 ・開会(主催者挨拶) ・来賓祝辞 ・平成29年度北海道社会貢献賞表彰式 ・平成29年度北海道青少年基金事業顕彰表彰式 ・平成29年度「少年の主張」全道大会発表、表彰 (札幌市及び13(総合)振興局地区代表):15人 (十勝総合振興局地区代表1名欠席) 《最優秀賞》 受賞者:(釧路代表)白糖町立白糖中学校3年 阿部はるか テーマ:支える側への配慮も ・基調講演 演 題:「1ミリでも進める、子どもの貧困対策」 講 師:社会活動家・法政大学教授 湯浅 誠	
(2) 青少年育成運動活性化研究協議会の開催	青少年育成運動推進指導員のほか、道内各地の青少年育成関係者やボランティアを対象として、子供・若者育成支援の現状や課題、今後の支援や対策等について、各テーマを設けた分科会で研究協議や意見交換等を行い、今後の子供・若者育成支援や青少年育成運動についての共通理解を深めた。 ○期 日 平成29年11月8日(水) ○場 所 道民活動センター(かでの2・7)大会議室ほか ○参加者 北海道青少年育成運動推進指導員、青少年育成関係機関・団体の関係者、青少年育成運動を進める住民組織会員、(総合)振興局・市町村行政関係者、補導センター補導委員、更生保護関係者等 177名 ○内 容 ・基調講演 演 題:「子どもの“こころ”の揺らぎと成長 ー大人の役割をもう1度考えるー」 講 師:北翔大学教育文化学部 心理カウンセリング学科准教授 飯田 昭人	



事業名	事業の概要	備考
<p>(2) 青少年育成運動活性化研究協議会の開催</p>	<p>・分科会</p> <p><b>第1分科会</b>            テーマ：「これからの地域活動の在り方」            ～求められる取組と支援～(ワールドカフェ)            ファシリテーター：北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課            社会教育・読書推進グループ主査 木幡 淳史</p> <p><b>第2分科会</b>            テーマ：「子ども達の居場所づくり」            ～地域で実践する子どもの貧困対策～            話題提供者：藤女子大学人間生活学部食物栄養学科            講師 隈元 晴子            コーディネーター：北海道教育庁石狩教育局教育支援課            社会教育指導班社会教育主事 尾形 行亮</p> <p><b>第3分科会</b>            テーマ：「ネット社会に生きる子ども達」～スマホの光と影～            話題提供者：子どもとメディア北海道(白老町)            副代表兼事務局長 中谷 通恵            コーディネーター：北海道教育庁空知教育局教育支援課            社会教育指導班社会教育主事 齋藤 伸一</p>	
<p>(3) 明るい家庭づくり道民運動の推進</p>	<p>本運動をより一層推進するため、「道民家庭の日」イメージキャラクター(ほーほーくん)を活用し、民間企業や関係機関等が主催する各種イベントに参加するなど普及活動を行ったほか、「道民家庭の日」啓発資料(資材)を市町村等の関係機関・団体に作成配付し、普及啓発を図った。</p> <p>また、各種啓発活動等を通じ「家族ふれあい優待制度」協賛店・施設の拡大に努めた結果、道内大手スーパーマーケットが追加加入したことにより、協賛店・施設の数が大きく増加した。</p> <p>さらに、「道民家庭の日」絵画コンクールを実施し、全道の小中学生や道民への応募の呼びかけや、道庁ロビー等における入賞作品展の開催により、「道民家庭の日」の普及啓発に努めた。</p> <p>①「道民家庭の日」普及促進に伴う各種イベントへの参加</p> <p><b>【「木育フェア」inアリオ札幌】</b>            ○期 日 平成29年7月12日(水)～13日(木)            ○場 所 アリオ札幌 2階            ○内 容 「道民家庭の日」ぬりえ広場、じゃんけん大会等</p> <p><b>【THE サッポロビヤガーデンふるさと応援PR ステージ】</b>            ○期 日 平成29年8月8日(火)            ○場 所 大通公園8丁目会場(サッポロビール主催)            ○内 容 「道民家庭の日」クイズ大会、広報宣伝PR等</p> <p><b>【「道民家庭の日」啓発活動 in 木下大サーカス札幌会場】</b>            ○期 日 平成29年8月18日(金)            ○場 所 木下大サーカス札幌会場(旧月寒グリーンドーム駐車場)            ○内 容 「道民家庭の日」啓発物配布、写真撮影等</p>	

事業名	事業の概要	備考
<p>(3) 明るい家庭づくり道民運動の推進</p>	<p>【「第10回北海道うまいもの見～つけた!」 in アリオ札幌】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○期 日 平成29年11月4日(土)</li> <li>○場 所 アリオ札幌 1階 ハーベストコート (イトーヨーカドーと道が主催)</li> <li>○内 容 道庁ゆるキャラ大集合、写真撮影、広報宣伝PR等</li> </ul> <p>【HAPPY MAMA FESTA SAPPORO 2017】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○期 日 平成29年11月23日(木)</li> <li>○場 所 札幌ドーム(実行委員会主催)</li> <li>○内 容 PRブース出展、着ぐるみ大行進、広報宣伝PR等</li> </ul> <p>【「さっぽろ雪まつり5丁目ふれあいアート広場ステージ」】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○期 日 平成30年2月8日(木)</li> <li>○場 所 大通西5丁目会場 (北海道コカ・コーラボトリング(株)が主催)</li> <li>○内 容 「道民家庭の日」じゃんけん大会、広報宣伝PR等</li> </ul> <p>②「道民家庭の日」街頭啓発活動(道、道警、道教委と共催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○実施日時 平成29年4月～平成30年3月 (月1回/延べ11回実施)</li> <li>○実施場所 札幌駅西口コンコース</li> <li>○配付資材 「道民家庭の日」啓発ポケットティッシュ及びリーフレット 総計 7,750個</li> </ul> <p>③「道民家庭の日」啓発資料等の作成・配付等</p> <p>各市町村や全道の小中学校、児童館、関係機関・団体などに配付したほか、各種事業やイベント等で活用し啓発に努めた。</p> <p>(リーフレット(119,000部)、カレンダー(3,500部)、ポスター(1,000部)、ゴム風船(2,000個)、手提げ袋(3,000枚)、大・ミニのぼり(計320枚)、ポケットティッシュ(30,000個)など)</p> <p>④家族ふれあい優待制度の普及促進</p> <p>各市町村や推進指導員に情報提供や協力依頼をしたほか、民間企業等が主催する各種イベントへの参加や啓発活動において協賛協力等のPR活動に努めた結果、新たに104ヶ所加入し、協賛店・施設の数が大きく増加した。</p> <p>(ホテル・旅館、飲食店、博物館・水族館、テーマパーク、果樹園、ボウリング場、スーパー・商店、キャンプ場など 計554ヶ所(前年度450ヶ所))</p> <p>⑤「道民家庭の日」絵画コンクール2017の実施</p> <p>全道の小・中学校児童生徒の応募原画の中から審査により、入選作品を決定し表彰するとともに、入賞作品展を開催した。 (応募総数：54校/500点)</p>	

事業名	事業の概要	備考
<p>(3) 明るい家庭づくり道民運動の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最優秀賞 2点(賞状、盾)</li> <li> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">小学生の部</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>受賞者：乙部町立明和小学校3年 近藤 彩乃</li> <li>題名：「みんなで田植え作業 たのしいな。」</li> </ul> </li> <li> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">中学生の部</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>受賞者：北斗市立上磯中学校2年 沼岡 幸咲</li> <li>題名：「妹たちの七五三」</li> </ul> </li> <li>・優秀賞 4点(賞状、盾)</li> <li>・優良賞 6点(賞状、盾)</li> <li>・佳作 24点(賞状)</li> <li>・学校賞 2校(賞状)</li> </ul> <p>○絵画コンクール入賞作品展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道庁1階「道民ホールA」(入場者数：377名) (平成29年11月15日～17日)</li> <li>・札幌駅前通地下広場 (入場者数：260名) (平成30年 1月10日)</li> <li>・各総合振興局・振興局庁舎 (平成29年12月 4日～ 6日/檜山) (平成29年12月11日～18日/オホーツク) (平成30年 1月15日～19日/胆振) (平成30年 2月13日～16日/渡島) (平成30年 2月19日～23日/宗谷)</li> </ul>	
<p>(4) 青少年を非行・被害から守る環境づくりの推進</p>	<p>7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、「青少年の非行防止道民総ぐるみ運動強調月間」の一環として関係団体と街頭啓発活動を実施したほか、関連事業と連動させながら、非行防止のための諸活動を推進した。</p> <p>①関係団体と協力した街頭啓発活動等の実施</p> <p>「夏・冬の暴力追放運動」街頭啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共 催 公益財団法人北海道暴力追放センター</li> <li>・日 時 平成29年7月～8月 (4日間/延べ4回) 平成29年12月 (3日間/延べ3回)</li> <li>・実施場所 地下鉄駅前等(札幌市内)</li> <li>・配付資材 「道民家庭の日」啓発ポケットティッシュ及びリーフレット、メモ帳 総計 700個</li> </ul> <p>また、7月の強調月間での街頭啓発等に係る啓発資材として、「道民家庭の日」ポケットティッシュを各(総合)振興局に配付し、非行防止活動の一層の推進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配付部数 ポケットティッシュ 計 13,500個</li> </ul>	

事業名	事業の概要	備考
(4) 青少年を非行・被害から守る環境づくりの推進	<p>②麻薬覚せい剤乱用防止キャンペーンビデオ「DRUG」の貸出 麻薬覚せい剤乱用防止キャンペーン映画「DRUG」のビデオテープの貸出について当協会ホームページで周知を図った。</p> <p>③未成年者の飲酒・喫煙防止活動の促進 当協会のホームページに喫煙と健康の問題に関するサイトを設け啓発したほか、未成年者喫煙防止対策推進協議会に出席し、未成年者の喫煙防止活動の一層の充実を図った。 ・日 時 平成29年11月21日(水) ・場 所 かでる2・7 6階620会議室</p> <p>④有害情報から青少年を守る活動の推進 北海道や学校関係者、情報通信企業などにより構成する北海道青少年有害情報対策実行委員会などの一員として、インターネットや携帯電話による有害情報から青少年を守るため、各種啓発活動を進めた。</p>	
(5) 「大人が変われば、子どもも変わる」運動の推進	<p>啓発資料を市町村及び関係機関・団体等に配付したほか、当協会が開催した各種大会等を通じ、運動の周知に努めた。 (配付部数) 「大人が変われば、子どもも変わる」 啓発パンフレット 1, 250部</p>	
(6) 「北海道青少年のための200冊」の選定推奨	<p>①「北海道青少年のための200冊」普及事業 北海道学校図書館協会、北海道読書推進運動協議会、各出版社の協力を得て、青少年の読書普及の一環として「北海道青少年のための200冊」(平成29年度版は、52冊を更新)を選定し、図書目録や啓発ポスターを作成し、全道の幼稚園や小・中・高の学校など関係方面に配付するとともに、ホームページに掲載するなど、良書の情報提供に努めた。 (配付部数) ・平成29年度図書目録 12,000部 ・平成29年度新選図書目録 11,000部 ・200冊啓発ポスター 2,900部 (協賛出版社) 42社</p> <p>②第29回読書感想画中央コンクール・第4回全道コンクール 北海道学校図書館協会、毎日新聞社の主催により対象図書として活用された。</p> <p>③第63回青少年読書感想文全道コンクール・第43回北海道指定図書読書感想文コンクール 北海道学校図書館協会、毎日新聞社の主催により、「協会長賞(2名)」を贈呈し、青少年の読書の普及活動を支援した。</p>	

事業名	事業の概要	備考
(7) 青少年育成関係団体懇談会の開催	<p>青少年育成関係団体・機関が一堂に会し、相互の団体活動の連携協力や青少年健全育成の効果的な促進について情報交換などを行ったほか、話題提供により不登校児童生徒の現状を把握し、共通認識を深めた。</p> <p>○期 日 平成30年2月7日(水)  ○場 所 かでる2・7 10階 1050会議室  ○参加団体 14機関・団体  ○内 容  ・各団体活動状況報告、意見交換等  ・話題提供  演 題：「不登校児童生徒の現状と課題」について  説 明：北海道教育庁学校教育局参事(生徒指導・学校安全) 生徒指導・学校安全グループ主幹 岡本 貴仁</p>	
(8) 広報啓発活動の推進	<p>①啓発資材の作成・配布  「道民家庭の日」絵画コンクール入賞作品12点による平成30年カレンダーを作成し、市町村、小・中学校、関係機関・団体に配付し、青少年育成運動の普及促進に努めた。  (配付部数)平成30年カレンダー 3,500部</p> <p>②協会機関紙の発行  協会の事業報告や関係機関の関連記事など、青少年育成運動の推進に対する理解と関心を高めるため、機関誌を年2回発行し、各総合振興局・振興局、市町村、関係機関・団体、賛助会員等に配付し、広報啓発を行った。  (配付部数)協会機関誌「育む」 (各回)2,500部</p> <p>③講師派遣の実施  (総合)振興局、市町村、育成団体等が開催する各種研修会に講師を派遣し、全道の青少年育成運動の現状と課題等について講演を行った。(派遣回数 6回/総参加者 194名)  《派遣場所》  ・留寿都村青少年問題協議会 (留寿都村・参加者15名)  ・十勝青少年育成運動推進指導員研修会(大樹町・参加者20名)  ・後志管内青少年育成運動推進指導委員会協議会研修会 (倶知安町・参加者14名)  ・空知青少年育成運動推進指導員研修会(岩見沢市・参加者19名)  ・幌西地区青少年育成委員会「こどもを見守る地域の集い」 (札幌市・参加者77名)  ・美幌町青少年育成指導員等研修会 (美幌町・参加者49名)</p> <p>④ホームページ・SNSの活用  インターネットの特性を活かした、ホームページをリニューアルし、大会や研究協議会の開催予告及び結果、絵画コンク</p>	

事業名	事業の概要	備考
(8) 広報啓発活動の推進	<p>ル作品募集等の記事や出版物の電子版を掲載したほか、SNS(フェイスブック)を活用し、若年層等への情報発信に努めた。</p> <p>⑤講演録集の作成・配布          青少年問題についての理解を深めるため、北海道青少年育成大会や他の基調講演の内容を取りまとめた講演録集「次代をみつめて'17」を発行し、各市町村・推進指導員・関係機関等に配付した。</p> <p>(配付部数) 講演録集「次代をみつめて'17」 800部          (内 容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会名：北海道青少年育成大会            演 題：「1ミリでも進める、子どもの貧困対策」            講 師：社会活動家・法政大学教授 湯浅 誠</li> <li>・大会名：青少年育成運動活性化研究協議会            演 題：「子どもの“こころ”の揺らぎと成長            —大人の役割をもう1度考える—」            講 師：北翔大学教育文化学部            心理カウンセリング学科准教授 飯田 昭人</li> </ul>	
<b>3. 社会参加促進事業</b>	<p>青少年の社会参加を促進するため、地域の青年が地域づくりに主体的に参画し、その活動を通して地域活動の中核的な担い手として成長することを促進するため「北海道青年活動元気づくりプロジェクト」事業を実施するとともに、青年の地域活動の活性化や地域間の交流・ネットワークづくりを促進するため「青年活動元気づくり実践セミナー」を開催した。</p>	
(1) 青少年の社会参加・体験活動等への支援 (北海道青少年基金事業)	<p>北海道青少年基金の充実を図るため、関係機関・団体等に対し募金活動を行った。</p> <p>また、運用益事業では、青少年団体・グループに助成し、青少年の社会参加活動を促進するとともに、他の模範となる青少年団体を顕彰した。</p> <p>①募金活動          道職員や各関係団体への協力要請、新成人記念募金、施設や運用益交付事業実施時の募金箱の設置依頼、当協会実施行事等で募金の呼び掛けを行った。</p> <p>○基金造成実績          募金実績額：131万9,028円 (予算額：130万円)          基金累計額：3億3,329万9,714円</p> <p>②運用益交付等事業          ○助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付団体数 40団体 (申請数：40団体)</li> <li>・交付総額 300万</li> </ul>	

事業名	事業の概要	備考
(1) 青少年の社会参加・体験活動等への支援 (北海道青少年基金事業)	○顕彰事業 ・団体の部 1団体(推薦数:1団体) 特定非営利法人 函館市青年サークル協議会(函館市) 平成29年9月8日開催の北海道青少年育成大会にて、表彰状及び盾を贈呈した。	
(2) 北海道青年活動元気づくりプロジェクト事業の推進	①「元気づくりプロジェクト」助成事業 地域の青年団体・グループが行う地域の活性化活動に対し、交付金を交付し活動の推進を図った。 サタデースクール ○事業名:サタデースクール ○期 日:平成29年7月22日～平成30年3月17日 (毎週土曜日実施) ○場 所:札幌市(札幌市アカシア若者活動センター) ○参加者:394名 クスロ ○事業名:クシロソーシャル大学[環境ワークショップ事業] ○期 日:平成29年11月1日～平成30年3月16日 ○場 所:釧路市(釧路市観光国際交流センターほか) ○参加者:82名  ②「青年活動元気づくり実践セミナー」の開催 地域活動を行う青年に対し、活動の活性化のための課題や今後の進め方などの実践的なノウハウを学ぶとともに、地域間の青年のネットワークづくりを促進するため、一般財団法人北海道青年会館と共催し、実践セミナーを開催した。 ○期 日 平成29年7月1日(土)～2日(日) (2日間) ○会 場 北海道青年会館(札幌市北区北6条西6丁目) ○対 象 地域で活動している、又は活動を計画している者 (概ね20歳から40歳までの者) ○参加者 8名 ○関係者(講師等) ・株式会社ノースプロダクション代表取締役 近江 正隆 ・株式会社ノースプロダクションスタッフ 本間 悠資 (指導・助言者) ・北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課 社会教育・読書推進グループ主査 木幡 淳史 ・北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課 社会教育・読書推進グループ 社会教育主事 中西めぐみ  ○内 容 1日目 (1)開会式、オリエンテーション	

事業名	事業の概要	備考
(2) 北海道青年活動 元気づくりプロ ジェクト事業の 推進	(2) 講演 演題：「青年活動が地域の未来をつくる」 講師：株式会社ノースプロダクション 代表取締役 近江 正隆  (3) ワークショップ① ・自己・活動紹介(団体・組織等の概要、活動内容) ・アクティビティⅠ(個人ワーク、グループ協議) ・アクティビティⅡ(グループ発表、全体協議) 2日目 (1) ワークショップ② ・1日目の振り返り ・企画ワークショップ(企画立案、個人フォロー等) ・企画発表等(個人発表、全体総括) (2) 閉会式	
<b>4. 国や中央団体等            との連携</b>	関係機関・団体の事業を共催により実施するとともに、関係 団体が実施した事業に協力した。	
(1) 北海道・東北ブ ロック研修会、 中央研修大会、 青年リーダー研 修会の参加	①北海道・東北ブロック研修会 ○日時 平成29年10月11日(水) ○場所 青森国際ホテル(青森県) ○参加者 北海道青少年育成運動推進指導員等 12名 ②中央研修大会 ○日時 平成29年11月27日(月)～28日(火) ○場所 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都) ○参加者 北海道青少年育成運動推進指導員等 5名 ③青年リーダー研修会 ○日時 平成30年1月29日(月)～31日(水) ○場所 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都) ○参加者 青年活動元気づくりプロジェクト団体 1名	
(2) 「少年の主張」 全道大会	北海道、国立青少年教育振興機構との共催により「少年の主張」 全道大会を開催するとともに、発表内容を掲載した作品集を作成 し、全道の中学校、市町村、関係機関等に配付したほか、ホー ムページ及び当協会機関誌に掲載した。 (配付部数) 「少年の主張」全道大会発表作品集 1,000部	
(3) 北海道児童館 連絡協議会 の事務局業務の 受託	道内の児童館で構成する北海道児童館連絡協議会の事務局業 務を行った。 (北海道児童館連絡協議会総会の開催) ○日時 平成29年7月12日(水) ○場所 第二道通ビル2階 2E会議室	



事業名	事業の概要	備考
(4)「日本の次世代リーダー養成塾」道内高等学校生の派遣事業に対する協力	本道の青少年の自立を促し、ボランティアや国際貢献、起業などに取り組む意欲を向上させるため、次代の北海道を担う青少年育成協議会の構成機関として協力した。	